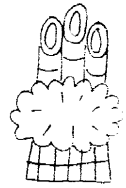


# ちゅうりっぷ組だより 1月号

平成30年1月19日 こり保育園 担当:鈴木



年末年始のお休み中に一人で立てるようになったり、発語が増えたりとそれぞれの成長が感じられた年明けとなりました。

本園での合同保育が終わり、分園に戻ると、初日こそ「ここはどこだろう」と周囲の様子を気にして保育者に甘える子の姿も見られましたが、翌日にはすっかり思い出したようでした。

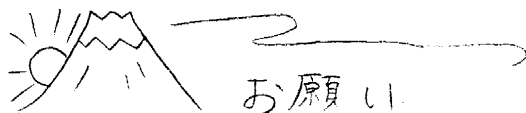
保育者の様子を窺いたまがら棚の中から玩具を出してにこにこ。そーとロッカーに登ろうとして目が合うとすまし顔をし、いつも通りの生活になりました。

さて、おゆうぎ発表会の練習では、曲が流れると手を叩いたり、腕を上には上げる振りでは「イェー」と声を出して楽しんでいる子ども達。曲が終ると背伸びをしてラジカセに手を伸ばし「もう一回」とアロル転子の姿も見られます。

再び曲を流すと拍手をする子もいる程嬉しそうに踊っています。おゆうぎ発表会当日は緊張してしまう子もいると思いますが、全員で参加出来ることを願っています。

また、排泄面では少しずつオマルに慣れてきています。

タイミングが合うと排尿出来る子もあり、保育者と一緒に成功を喜んでいます。まだ「これは何かだ」と不思議そうにオマルに座っている子もいますが、一人ひとりの成長に合わせて働き掛けていきたいです。



- くつ下にも記名をお願いします。
- 下着を購入する際は、ロンパースではなく、上下別タイプのものをお願いします。(オマルに裾が入ってしまうため)